



宮川ふとし県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

宮川議員 県では現在、出先機関の合同庁舎化、集約化を進めている。合同庁舎化は平時や災害時におい

て、各機関の連携が図られやすいことや、庁舎管理業務が一元化されるなどのメリットがあるが、広い県土を

擁する千葉県は、それぞれの地域によって、多様な特色を有していることから、一律に集約化を推し進めること

9月定例県議会一般質問



9月定例県議会一般質問を行う宮川太県議

宮川太県議(銚子市・香取郡東庄町選出、1期)は9月定例県議会で登壇し、県の出先機関の集約化などについて県執行部に質問しました。検討が進められている海匝地域の出先機関集約化では、出先機関が遠くなり、住民の利便性が損なわれる恐れもあるとして、地域の実情に十分配慮して欲しいと要望しました。また、サイズが大きく持ち歩きにくい子ども医療費助成受給券について、カードサイズへ変更したらどうかと尋ねました。宮川県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

県出先機関の集約化

地域の実情に配慮を

県民の利便性損なう恐れ

が必ずしも地元利益と合致しない場合も考えられる。

特に、東西に長く広がる我が海匝地域には、県税事務所が旭市を、その支所が銚子市に、また、土木事務所は銚子市と匝瑳市の2か所に配置されるなど、これまで、各機関が地域行政の拠点として活動してきた歴史がある。これを仮に、管内のどこか1か所に集約するとすると、地域によっては、長距離・長時間の異動を余儀なくされるなど、かえって県民の利便性が損なわれる恐れも想定される。

このため、出先機関の集約にあたっては、それぞれの機関が、その土地で果たしてきた役割や、地域の実情に十分配慮し、柔軟な対応がなされるべきであると考えます。

そこで、海匝地域の合同庁舎整備について、現在の検討状況はどうか。

総務部長 海匝地域では、県の出先機関の多くが老朽化し、耐震性能が低い状況にあることから、「県有建築物寿命計画」の第1期に

位置付け、整備の検討を進めているところ。検討に当たっては、海匝地域の地理的条件や、出先機関が銚子、旭、匝瑳の3市に配置され、それぞれの機能を果たしてきたこと等を踏まえ、県民の利便性や行政の効率性を確保する視点が必要であると考えています。

今後とも、地域の特性を十分勘案するとともに、地元市のご意見もろが、早期に方向性を決定したいと考えています。

宮川議員「検討に当たり、地域の特性にも配慮する」とのこと。安心した。地元としても期待しているので、早期に事業化されるよう、強く要望する。

老朽化進む銚子児童相談所

移転・建て替えを検討

宮川議員 銚子児童相談所は児童福祉の専門機関として、銚子市、東庄町など4市3町を管轄している。施設は昭和48年に建築され、現在、施設の老朽化とともに、虐待件数、保護児童の増加やそれに伴う職員数の増加等、一時保護所や執務室の狭隘化も進んでいる。

決定し、今年度から基本設計を進めることとしている。銚子児童相談所について、県有建築物寿命計画の整備対象となっており、現状を踏まえ、整備を進めていく必要がある。

健康福祉部長 銚子児童相談所については、施設の老朽化が進んでおり、県有建築物の寿命計画において、令和4年度までに大規模改修の着手を目指す施設に位置付けられています。

しかしながら、一時保護児童数や職員数の増加による施設の狭隘化が進んでおり、施設規模の拡大が必要であること、また、整備に係る法令上の制約等もあり、敷地内の改修が難しいことから、現在、移転・建て替えに向けた検討を進めているところ。

健康福祉部長 銚子児童相談所については、施設の老朽化が進んでおり、県有建築物の寿命計画において、令和4年度までに大規模改修の着手を目指す施設に位置付けられています。

しかしながら、一時保護児童数や職員数の増加による施設の狭隘化が進んでおり、施設規模の拡大が必要であること、また、整備に係る法令上の制約等もあり、敷地内の改修が難しいことから、現在、移転・建て替えに向けた検討を進めているところ。

宮川議員 児童相談所の候補地選定にあたっては、老朽化等の現状を踏まえ、スピード感を持って取り組んでいただくとともに、関係機関と連携し、子どもたちへ適切な支援が行えるよう、より良い条件の土地を選定するよう要望する。

●県政や銚子市・東庄町のご相談、ご意見をお寄せください

宮川ふとし 県事務所

〒288-0041 銚子市中央町18-11
TEL (0479) 26-3915 FAX (0479) 26-3916

子ども医療費助成受給券

カードサイズに変更提言 大きく持ち歩きに不便



議場の自席で、県執行部の答弁を聞く宮川議員

当時の被保険者証と同じ大きさとしたものです。

県では、受給券をカードサイズへ変更する検討を行うため、平成29年度と令和元年度に市町村意向調査を行いました。市町村からは、携帯等の利便性が向上するよう意見がある一方で、受給券発行システムの改修が必要である、より耐久性の高い素材にする必要があるなど、新たな費用の発生

が見込まれ難しい等の意見もあったことから、事務取扱要領の改正には至っていない状況です。

県としては、今後も、市町村と丁寧な意見交換を行い、また、他県等の状況も参考に検討してまいります。

豚熱ワクチン接種

民間獣医師も可能に

宮川議員 県では、民間獣医師を活用した豚熱ワクチン接種を今後どのように進めていくのか

農林水産部長 国は、これまで本県等からの要望を踏まえ、防疫指針を改正し、本年4月から知事が認定した民間獣医師によるワクチン接種を認めまし

た。

これを受け、県では、民間獣医師によるワクチン接種を進めることとし、本議会に民間獣医師が接種する場合の手数料を設定する条例改正案を上程したところであります。

宮川議員 本県は、豚の産出額全国第4位の養豚県なので、しっかりとワクチン接種を進めていただき、生産者のみなさんを守っていただくよう要望する。

県への不正アクセス

1.6秒に1件
昨年度

宮川議員 本県におけるサイバー攻撃の被害状況はどうか。

総務部長 県では令和2年度に、不正アクセスが約20万1千件、およそ1.6秒に1件、また、ウイルスを含むメールは約24万件、およそ2分に1件の割合でサイバー攻撃を受けています。

これまで県では、事前の不正アクセスの検知や遮断などの多層的・重層的な対策を講じており、平成29年の県立学校でのウイルス感染事例を最後に、被害は生じておりません。

ウイルスメールは24万件

サイバー攻撃は年々複雑・高度化してきており、今後ランサムウェアなどの様々な脅威に対応するため、専門人材による24時間365日の監視や通信状況の分析を行うなど、総合的なセキュリティ対策に層取り組んでまいります。

宮川議員 サイバー攻撃につきましては、新しい手法が次々と確認されている。県の情報セキュリティ対策は、こういった手法に対してもいち早く情報収集するとともに、情報が流出することのないよう、しっかりと対応いただくよう要望する。

マンホールトイレ 災害時に有用 着実な導入を

宮川議員 災害時におけるマンホールトイレについて、県内の導入状況と今後の取り組みはどうか。

防災危機管理部長 マンホールトイレは、災害時に下水道のマンホールの上に設置して使用する設備であり、国の防災基本計画において、市町村がその整備に取り組みむものとされ、国が交付金の対象としているほか、県は地域防災力向上総合支援補助金により財政支援を行っている。

県内の導入状況は、令和2年3月末現在で利用可能なマンホールが1713基あり、導入団体は公共下水道を有する35団体のうち20団体となっています。

今後とも、市町村に対し、マンホールトイレの有用性を周知するとともに、国や県の支援策の活用を働きかけるなど、避難所におけるマンホールトイレの導入促進に向けて取り組んでまいります。

宮川議員 とうにか、早くも早い全線開通に向けて、事業中の横芝光町から匝瑳市までの区間の早期完成もそうですが、匝瑳市から旭市区間の早期事業化、更に事業中区間と同時並行での事業進行に取り組んでいただくよう要望する。

宮川議員 災害時における避難所の環境整備は非常に重要であり、特にトイレ問題を解決するにはマンホールトイレの整備は大有用であるので、市町村と連携し、着実に進めていただきたいと思います。

宮川議員 匝瑳市・旭市区間の早期事業化を要望

宮川議員 銚子連絡道路の匝瑳市から旭市区間の取り組み状況はどうか。

知事 銚子連絡道路は、圏央道の整備効果を山武・東総地域へ広く波及させ、地域経済の活性化や防災力の向上などを図る大変重要な道路と認識しております。

匝瑳市から旭市までの13キロメートル区間については、昨年度から進めていた都市計画の手続きを先月末に完了させたところです。

県としては、引き続き、銚子連絡道路の早期整備に向けて、匝瑳市から旭市までの早期事業化に積極的に取り組んでまいります。